

病院の理念

- ◎地域医療に努め
皆様に愛される
病院を目指します
- ◎人間愛を基本とし
最良の医療の
提供に努めます

● ● ● 第 23 号 ● ● ●

2017年7月発行

発行：岡山市久米南町組合立国民健康保険福渡病院
〒709-3111 岡山市北区建部町福渡 1000 番地
<http://www.fukuwatari-hp.jp/> TEL：086-722-0525



サインを一新



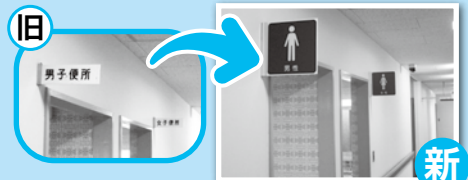
高齢の方の利用が多い当院では、使い勝手よく、清潔かつ安全に利用して頂くために、川崎医療福祉大学医療福祉デザイン学科の協力を得て、今年2月からサイン(表示)の見直しに取り組んできました。

小さい病院にもかかわらず行先が分かりにくいとの声や、古くさい男子便所・女子便所やCT室等の表示・形状などの問題を解消するため、同学科学生によるプレゼンテーションを経て、トイレや階段などを示すサインに絵文字(ピクトグラム)を導入しました。そして、最後の仕上げとして5月13日に学生、病院職員、地域住民ら約50人が参加して花や木の形に切り取ったシールを待合スペースの高さ2.6

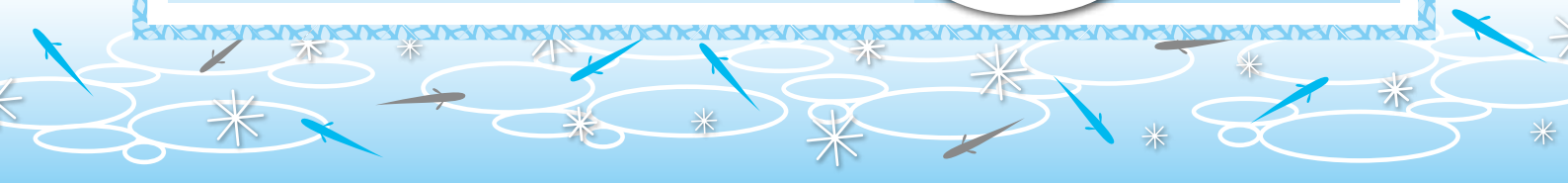
m、長さ約5mの壁面に貼り付け、壁面アートが完成しました。作品は、当院が位置する旧建部町の町花「きんもくせい」、町木「ヒノキ」、住民が愛着を持つ「旭川」、「さくら」、そして久米南町の町花「つつじ」、町木「イチヨウ」などがモチーフになっています。

この壁面アートを通じて、病院が単に病気を治すだけでなく、癒し・くつろぎの空間になることを目指しています。

なお、今回の取組みは川崎医療福祉大学オープンキャンパス2017(6月18日)でも紹介されました。



川崎医療福祉大学
オープンキャンパス
の会場風景





10月から地域包括ケア病床を取り入れます

当院では、今年10月開設にむけて地域包括ケア病床の準備を行っています。
地域包括ケア病床とは、主に急性期医療を経過し病状が安定した患者さんや在宅などで症状が急性増悪した患者さんを受入れ、リハビリや退院支援などの医療を効果的かつ効果的に実施する在宅復帰支援のための病床です。

対象の患者さんは、

- 1 入院治療により状態は改善したが、在宅に戻るにはもう少し治療継続が必要な方
- 2 入院治療により症状が安定し、在宅復帰に向けてリハビリテーションが必要な方
- 3 在宅での療養準備が必要な方

などです。

なお、個々の患者さんの状況により入院期間は異なりますが、地域包括ケア病床の入院限度日数は60日と決められており、入院後60日以内での退院が原則となります。

入院費用は、包括診療となり保険に定められた定額の支払いをしていただくことになります。

地域医療連携室を設置しました

患者さんやご家族が住み慣れた地域で安心して暮らしていただくために4月に地域医療連携室を設置いたしました。簡単にご紹介いたします。

Q 地域医療連携室ってなに？

A 患者さんやご家族の不安や困りごとなどの相談に応じ、一緒に考え解決にむけてのお手伝いをさせていただくところです。
相談内容によっては、主治医をはじめ、地域の診療所や保健・福祉の機関の方々と密に連携をはかりながら支援をおこないます。

Q どんな相談にのってくれるの？

A 「医療費や入院費の支払いが心配」「退院後の生活が不安」「介護保険や福祉制度について知りたい」など、さまざまご相談に応じます。

Q だれが相談にのってくれるの？

A 地域医療連携室の相談員は2名。看護師と医療ソーシャルワーカーがご相談に応じます。

Q 相談費用はいくらかかるの？

A 相談費用は無料です。

Q 相談内容を内緒にしてほしい

A 秘密厳守なのでご安心ください。

Q 相談方法は？

A 来院、電話（(086)722-0525）での相談をお受けしております。

受付は、平日（月～金）の8時30分～17時15分です（祝日、年末年始を除く）。

当院は、以前より地域包括ケアを実践するように心掛けてまいりました。その活動の一環として地域医療連携室を立ち上げました。患者さんの立場にたって業務をおこないたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。



堀内医師のご紹介



今年4月から、毎週木曜日の内科診療を担当していただいています堀内武志先生をご紹介します。

堀内先生は当地建部町のご出身で福渡小、建部中、岡山一宮高校を経て平成4年に自治医科大学を卒業され、現在は岡山市立市民病院の呼吸器内科部長として活躍されています。

自治医科大学はへき地医療を担う医師の育成を目的とし、堀内先生は卒業後に2年間の初期臨床研修を岡山赤十字病院で行ったあと、大原町国民健康保険病院（現在の美作市立大原病院）、西粟倉村国民健康保険診療所に、そして後期研修では岡山赤十字病院呼吸器内科や美星町国民健康保険病院（現在の井原市立美星国民健康保険診療所）に勤務されました。その後は岡

山大学第二内科に入局し、市中病院で多くの経験を積んでこられました。平成26年7月まで岡山赤十字病院呼吸器内科、そして倉敷平成病院呼吸器科を経て今日に至っています。

呼吸器内科医として肺炎や肺結核といった呼吸器感染症や、肺気腫・COPD、肺がん、気管支ぜんそく、間質性肺炎など呼吸器疾患の治療を幅広くされてきました。慢性呼吸不全（NPPV療法等）、嚥下性肺疾患、肺感染症、睡眠時無呼吸症候群などの睡眠障害治療については特に深く研鑽を積んだほか、自治医科大学の卒業生が派遣される地域の病院は総合的なニーズが高いこともあって、内視鏡（消化器及び呼吸器）の専門医や総合内科専門医も目指し、のちに取得されました。

これまでに培った医師としてのスキルを生かし、地域の皆さんのお役に立てるのではないかと思います。また、幼少の頃は建部町の山野を駆け回ったわんぱく小僧の一面もおありのようです。診察のかたわら世間話に花を咲かせるのもいいかも知れません。

三次元眼底像撮影装置を導入しました

当院では眼科外来を毎週火曜日と金曜日の2日間、岡山大学病院の協力を得て塩出雄亮医師と三木貴子医師に担当していただいています。

皆さんもご承知かとは思いますが、眼科の診察ではほとんどの場合、眼底検査を行っています。眼の正面から光を照らされるまぶしい検査ですが、これは眼球の奥の網膜という光を感じる神経の膜や、その網膜で感じ取った光刺激を脳に伝える視神経の表面を観察する大事な検査です。従来の眼底検査では、検眼鏡という器具を使って医師が瞳孔からのぞいてみたり、眼底カメラで写真を撮っていましたが、眼底を平面的にししか見ることはできませんでした。しかし、近年、「OCT(光干渉断層計)」という網膜の断面を観察できる画期的な検査機器が開発され、当院の眼科にも導入しました。



OCT検査とは、網膜(カメラで例えるとフィルムにあたる部分)の断層画像を撮影する検査です。

これにより従来の診察や眼底検査だけでは分かりにくい網膜の状態が明らかになり、断層像から網膜のむくみの程度や出血の範囲、深さなどを見ることができるようになりました。正確に病気の診断をし、今後の治療方針の決定や治療効果の判定を行うことができるようになりました。

OCTを必要とする代表的な疾患として、加齢黄斑変性、黄斑浮腫、黄斑円孔、黄斑上膜や網膜剥離、糖尿病網膜症などが挙げられます。これらの疾患を早期に発見するためにも有用な検査です。今後の日常診療に活用して、皆さんの診療に役立てます。



すえた なおみ
看護師 末田 直実



もりやま りさ
看護師 森山 莉紗



かねわか ゆうた
栄養士 兼若 祐太



医療ソーシャルワーカー
しきみ けいこ
式見 佳子



なかにし まりこ
事務 中西麻里子



きした かずこ
調理員 岸田 和子

よろしく
お願いします

新採用職員 の紹介

(平成29年4月)

訪問看護ステーション



あかまつ はるみ
看護師 赤松 晴美

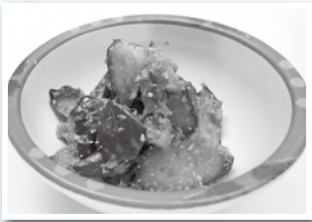


(平成28年7月1日付け)
ちかゆき としこ
看護助手 近行 敏子

昨年 から勤務 しています



(平成28年11月1日付け)
さとう みちこ
看護助手 佐藤美知子



当院のおすすめメニュー

いっぱい作ってみられず〜♪
簡単にできるで〜♪

きゅうりのナムル (2人分)

材料(2人分)

きゅうり……………140g
しょうが……………少々
にんにく……………少々
ごま……………小さじ1杯
かつお節……………小袋1
ごま油……………小さじ1/2杯
しょうゆ……………小さじ2杯

※しょうがとにんにくはチューブで構いません。
※他の野菜に変えて作っても美味しいですよ。
※お好みでコチュジャンを入れても美味しくなります。

作り方

- ①きゅうりは食べやすい大きさに乱切りにする。
- ②しょうが、にんにく、ごまをすっておく。

旬のきゅうりを使った、とても簡単に夏にぴったりの1品を紹介しします。

- ③材料をすべてナイロン袋に入れて混ぜ、なじんだら器に盛って出来上がり。



1人分	エネルギー…46 kcal	炭水化物…3.4g
	たんぱく質…1.8g	食塩相当量…0.7g
	脂質…3.2g	食物繊維…1.2g

(栄養科)

駐車場の区画にU字ラインを採用

この度、正面駐車場の舗装工事を行いました。あわせて一部の区画をシングルラインからU字ラインに変更しました。U字ラインのメリットは白線に沿って駐車するだけで、車両の左右にゆとりが得られ車の乗り降りもスムーズに行えます。



健康教室に参加しました

平成29年6月20日、角石谷地区の谷上公民館で行われた小地域健康教室に景山看護部長と近行理学療法士が参加しました。

約20人の参加者全員で岡山市民体操をしたあと、ひざ・腰の痛みについての話を近行理学療法士がデモンストレーションを交えて行いました。とても身近で切実な話題のため、講演のあとには参加者から「体操はいつの時間にするのがいいか」、「足がつるのはどうしてか」など各人それぞれに関心のある質問もあり、とても充実した時間を過ごすことができました。

当院では今年度、ひざ痛・腰痛予防のほか糖尿病に関する知識を深めていただくためのメニューも用意しています。



診療予定表 (2017年 7月現在)

【受付時間】 午前 8:00 ~ 11:30 午後 1:30 ~ 4:00
【診療時間】 午前 9:00 ~ 12:00 午後 2:00 ~ 5:00

	月		火		水		木		金		土
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前のみ
内科	武進	マツミ 松三明宏	塩田哲也		塩田哲也	松下浩志	1 塩田哲也 2 堀内武志	堀内武志	岩崎良章	塩田哲也	担当医 (第1・3・5)
外科	黒瀬匡雄		黒瀬匡雄		黒瀬匡雄		黒瀬匡雄		黒瀬匡雄		サンキ 三喜知明 (第1・3・5)
整形外科	大橋秀基 【予約】			三谷 茂 (第4) 【予約】				遠藤裕介 【予約】			
形成外科								稲川喜一			
眼科			三木貴子 (15:00まで)						塩出雄亮 (15:00まで)		
循環器科			寒川昌信 (第3)								
心臓血管外科		古川博史 (第2・4)									
末梢血管外科				松前 大 (第3)							
脳神経外科											難波洋一郎 (第3)
心療科											寺田整司 (第3) 【予約】
泌尿器科											小林/山下 (第1) 【予約】
婦人科								萬 (第2)			

※第2・第4土曜日の外来診察は休診いたします。(急患はこの限りではありません。) ※予約外来については、各科外来看護師・担当医師にご相談ください。
※医師の都合で診療日が変わる場合があります。あらかじめ職員にご確認ください。

編集後記

年々、季節感が薄れている感じがします。春をあまり感じないまま夏が来てしまう。とりわけ、今年の夏はスーパー猛暑ともいわれています。気温が37℃を超える日も予想され熱中症が心配です。こまめな水分補給、加えて塩分も大切です。暑さ寒さはもちろん、季節ごとの雰囲気を感じる事が少なくなりました。お正月営業、季節に

関係なく栽培される野菜・果物、春の運動会、記念写真の前撮り・早撮りなど。ランドセルの早売り(早買)は何でしょう。日本ほど四季がはっきり分かれている国はないといわれます。グローバル化の時代、日本的な良さを再確認したいものです。

(Y.N)